



発行者
大曲商工会議所青年部
大仙市若竹町 33番 7号
TEL62-1262
編集・発行
広報委員会

第五十六回

大曲商工会議所野球大会

炎、S 大内 誠

六月七日、天気は曇り、ちょうど良い天候の野球日和。今年も三〇チームの参加で幕開けした商工会野球大会。我、青年部チーム「炎、S」は、“一勝”を目標に掲げ、今年も若手とベテランが一致団結し、人数ギリギリながらも元気に参加しました。

一回戦は炎、Sの先攻でプレイボール。間違ってたのか実力なのか初回到二点の先制。その後もピンチはあるものの「チーム力」で上回っていたのか終わってみれば、4-0で勝利。



二年連続の一回戦突破！この調子だと二回戦突破も夢じゃないかも・・・と夢見るぐらいの笑顔がそこにはあった。

二回戦、相手投手は本格派右腕。「この投手から点を取るのは相当キツイ」と誰もが思った伸びてくる直球、キレのある変化球。



だが、「炎、S」の投手も負けではない。初回0-0。しびれる様な投手戦のはずが、一年のなかでこの大会でしか野球をしない「炎、S」メンバーの珍プレーの連鎖が勃発！大きくリードを許してしまう。今までの「炎、S」ならここで諦めてしまうはずが、何かが違う。反撃の始まりである。つながり始める打線。相手打線に追加点を許さない堅い守備。しかしながら「ロー」という大敗・・・いや惜敗とも言えるだろう。んー残念。

今年もボンボンラビッツの優勝で大会終了。しかしつえーなあー



来年は「打倒ボンボン」ではなく、「二回戦突破」を目標に、二日目に残れるようみんな頑張っていければと思います。今年もスタッフに支えられ、無事に大会を終えたことと応援してくれたYEGメンバーに感謝しています。

野球大会を終えて

炎、S 小原 恵

今年度の大曲商工会議所野球大会も、ボンボンラビッツBチームの優勝で幕を閉じた。我が炎、s（ファイヤーズ）は、初



戦こそオールホンダ相手に勝利したものの、二回戦で善戦むなしく敗れてしまいました。今回は青年部会員がギリギリの状態での試合でしたので大変

厳しいものでした。

この大会は、大曲商工会議所青年部が主管しているので、青年部会員から多数大会運営に來てもらわないと成り立ちませんので、何とかならないものかと思えます。でないと、この野球大会自体が成り立たなくなってしまうような気がします。来年こそは、会員の皆様に大会運営に出来るだけ協力頂ける様、お願いします。最後に、炎、s（ファイヤーズ）自体も人が足りないのですからの方も併せて参加の方よろしくお願いします。

第一二回YEG全国サッカー大会静岡大会に参加して・

ジルドーナ・キナーゼFC 鈴木 靖之

今大会が初の参加で、どんな感じの大会なのか静岡へ移動中の車内で考えていました。

七月一日夕方七時に大曲を出発し一〇時間の移動・途

中、何ヶ所かSAにより最後に足柄SAで軽いミーティングをし現地着の方向でハンドルを握りアクセルを踏んだが、仮眠してから向ったほうが良かった。会場に到着しグラウンドを見ると綺麗な天然芝のコードが二面あった。ウォーミングアップをしようとグラウンドに足を踏み入れてみると、ふかふかの柔かい芝だった。いつもは固い芝(土)の上で練習をしているので感触が全然違い、早く試合をしたい・・・そう思った。



開会式が終わって二時間、一試合目の相手は水戸YEG(MITTO BONZ)との試合。試合開始のホイッスルで試合が始まり千葉君のキックオフゴールで先制点を取り、前半は有利に試合を運び、一点のリードを守って前半を終えた。後半開始五分までは順調に試合を運んでいたが・・・自分のファールでフリーキックを与えてしまった。その後も一点を取られ、結果2・1で惜しくも敗れた。あのファールが無かったら・・・と自分を責めて、悔しくてテント



に居れなかった。次の試合まで少し時間が空きやないけど食べれなかった。アイスやスポーツドリンク、冷えピタ、塩飴などを貰い熱中症にならないようにしていた。準備してくれた方々ありがとうございました。

休憩を終え次の試合の時間になった。二試合目の相手は京都YEG（全国大会京都大会ぎょうさんおこしやーす）との試合。試合序盤はボールを保持し有利に試合運び、開始五分くらいに儀人さんが先制点を奪取した。後ろから見ていて最初はわからなかったけど、みんなが

喜んでいたので点が入ったんだと確信し喜んだ。前半はそのまま進展なく終了した。後半に入ると相手のメンバーがかなり代わっていたので、気を引きしめて望まないと絶対にやられると思った。案の定、劣勢にたたされ危ない場面も多々あったが、集中して対処していたので同点ゴールを奪われるまでには至らなかった。試合が終わりホテルに戻り、大懇親会の会場へ移動するまで時間があつたため、風呂に入つて仮眠をしていたら・寝坊。仁さんからの電話で目が覚め慌てて車へ向い、移動中も寝て気づいたら会場の駐車場。懇親会が終わり部屋に戻り、ベツトに横たわり気づいたらAM二時・目が覚めたがすぐ二度寝。

最終日は朝から帰路につき、途中桶川でいずみさんと別れ秋田に向つて出発した。暗くなつてから大曲に着き解散し、今大会はこれで幕を閉じた。

最後に、今大会はハードな行程・内容でしたが、チームみんなの力を合わせ乗る切ることが出来ました。応援してくれた

大曲YEGの皆さん本当にありがとうございました。一月後半には長井市でフットサル東北大会があるので、それに向けてYEGみんな協力して頑張つて行きたいと思ひます。

サッカー大会を終えて

ジルドーナ・キナーゼFC

千葉 光

サッカー王国でのW杯でサッカー界が盛り上がりを見せる中、日本のサッカー王国静岡県で七月十二日から行われた全国YEGサッカー大会に参加しました。

静岡県で開催ということもあり、十一日の夜から移動を始めました。移動中前回、前々回大会の辛さを聞き、不安になりました。静岡に近づくにつれ試合ができる興奮で眠ることができませんでした。途中健康ランドにて休憩の予定を変更し、早めに会場に行き休むというプランになりました。



会場に到着が朝五時。しかし、会場が空いておらず入口で二時間待ちぼうけ…。朝七時やつと会場入りができ、やつと休憩、睡眠がとれると思つたのですが朝八時で既に黙つているだけで汗をかく暑さが襲つてきました。結局そのまま開会式に参加しました。そこで、今回の決戦の地「清水市蛇塚グラウンド」に足を踏み入れました。そして迎えた第一試合目、水戸との試合。



試合前、監督一色さんから「キックオフ狙ってみたら」との言葉をもらったのでダメもとでキックオフシュートを狙って…入った!!!
 一瞬両チーム何が起きた理解できない微妙な空気が流れましたが、先制に成功しました。しかし、移動の疲れや寝不足により大曲の動きはかなり重く、相手に主導権を握られ多くのピンチがありました。相手のミスにも助けられ前半を1対0で折り返しました。

そして後半も水戸に開始早々から主導権を握られ、中盤に差し掛かったところでどうとうセットプレーから連続で失点し、逆転を許してしまいました。試合も終わりに近づき、大曲も気力を振り絞って攻勢に出ました。
 コーナーキックこぼれ球を渡邊さんがオーバーヘッドなどポストに嫌われるシーンもあり、結局1対2で試合終了。
 大曲はこの一試合で、結果的、精神的、体力的に追い込まれてしまいました。しかし、運営の静岡YEGさんの配慮でクーラーの効いた部屋とマッサー、ジコナーがあり、個人的に本当に救われました。
 そして二試合目京都との試合。一試合目の水戸戦より、相性がよかったのかチームとしてバランスが取れ、主導権を握って試合を進めることができました。前半はほぼ押していました。なかなか得点を奪えず終わりました。後半も前半の勢いそのままに大曲が攻める展開が続いて後半中盤に待望の先制点が生まれました。決めたのは、、、



「大曲YEGの点取り屋渡邊さん！」この得点を機に更に攻勢をかけましたが京都の堅い守りを崩せず、しかし大曲も堅い守りでピンチというピンチもなく1対0の完封で今大会初勝利をもぎ取りました。
 大会の総括としては、一人一人がボールに絡めていたりポジションの役割をこなすなど練習の成果がでてきているなど実感しました。なによりチーム全体でサッカーを楽しんできているような気がしました。惜しくも決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、一二日の夜に決まった次々年度の



長井大会に向けて収穫が多かったと思います。

この大会で深まった団結力をサッカーはもちろん、商工会議所の活動にも生かせればと思います。

~~~~~  
 編集後記

今回は野球&サッカーのスポーツ特集としました。どちらの大会も暑中大変お疲れ様でした。若い人が増えて平均年齢もかなり下がった！気がします。昨年度はフットサル大会も開催しましたし、今後もスポーツを通しての交流を深めたいと思います☆☆☆ (いずみ)